

浜田 税務署長賞

税の大切さ

島根県立矢上高等学校 一年 小泉 志歩子

令和2年度 高校生の税に関する作文

私は今まで税金というものは必要ないものだと思っていました。

田舎の生活を営んでも田舎を「ムラ」で消費税を払わないといけないので、金額が増えれば増えるほど消費税の計算が難しくなっていくというささいな理由で、消費税は必要ないものだと思っていました。税金には所得税や国税、地方税など沢山の種類があります。だから私は、こんなにお金を集める必要があるのか、と思っていました。ですが、税金を集められたお金はいろいろな所で活用されていました。

私たちの身近なところで活用されているものは、小・中学校で使っていた教科書のお金は税金によつて補われています。また、子ども・子育て支援給付金にも使われています。これは、市町では決められたことができ、これによって国や都道府県、市町では決められておらず、中学まで医療費がたたり、これらには、税金が使われています。私たちは小・中学校に入学すれば当たり前のように教科書を買ひ、病院に行っています。ですが、こういった事が出来るのは色々な人が一生懸命働き、当たり前のお金を出しているからです。だから、私たちは感謝の気持ちを持ってはいけないのです。

日本は元々税金が多く、財政は余裕ではありません。ですが、今回のコロナの影響でずっと日本の財政は厳しい状況に追いやられていきます。収入より支出の方が多くなっている現状で、収入を少しでも多くするためには国民からももう少し税金を払ってもらおうという選択もでてくると思います。この時、賛成意見より反対意見の方が確実に多くなると思います。ですが、このような対策を講じていかないと日本の財政が回らなくなってしまう。財政が回らなくなると、政治家の方々が色々な対策を講じています。私たちがちゃんと税金を払えば財政は少しずつ確実に良くなると思います。ですが、私たちは決まりを守って税金を払っていても私達も収入がないと生活が出来なくなってしまう。だから、その所を何か対策を考えて生活が苦しくならないようにしてほしいなと思います。

税金というものは、私達を助けてくれるものでもあり、困らせるものでもあります。ですが、税金というものがあるから私達は当たり前のように不自由なく小・中学校と勉強させてもらひ、病院にも行かせてもらっていました。だから次は、私たちが大人になったら当たり前のように税金を払えるようにしていきたいと思いました。

主催： 国税庁

